

みなさんこんにちは、人権・同和教育部です。感染症のニュースなどで慌ただしい日々ですが、3月になり、暖かな春の日差しが感じられるようになってきました。さて、今回は3月に行った今年度最後の人権・同和教育HR活動を振り返るとともに、ふれあい委員のみなさんによる「ふれあいコラム」を取り上げてみたいと思います。



人権・同和教育HR活動

OHR活動の内容：3月10日（水）「性の多様性について」

1. 性のあり方（セクシュアリティ）に関する〇×問題を解きながら、性の4要素や性的マイノリティの人々についての基礎知識を身につける。
 - ・性には、こころの性・からだの性・好きになる性・表現する性の4つの要素がある。
 - ・恋愛や性愛の対象になる「性的指向」を自分で選ぶことはできない。
 - ・からだの性に違和感がある人や、自分のこころの性が分からない人もいる。小学校に入る前ぐらいで気づく人もいれば、結婚・出産・定年などをきっかけに気づく人もいる。
 - ・LGBTという言葉自体は新しいものであるが、このような人々は昔から存在していた。
 - ・同性愛が疾患とみなされ、異性愛者へと「矯正する」療法が行われた時期もあった。
2. 経済産業省に勤務するトランスジェンダーの職員が、希望するトイレを使えなかったというニュースを視聴して、性的マイノリティの方がどのような不便や生きづらさを感じているか考える。
 - ・あなたが原告のように、使用したいと思う反対の性のトイレしか使用できなかつたら、どのように感じますか。
 - ・あなたが同じ職場の同僚だったら、どのように感じますか。
 - ・どのような配慮・対応があれば誰もが気持ちよくトイレを利用できるでしょうか。
3. 性的マイノリティの人々にとってどのような配慮や対応があればより暮らしやすくなるか考える。
4. 2と3で考えたことをもとにして、様々な人々にとって生きやすい社会を実現するためにできることを考える。

○生徒のみなさんの感想文より

- ・性的マイノリティについて、心や体のほかに好きになる性や表現する性があることをもっと多くの人が知るべきだと思いました。昔の考え方で「女らしさ」や「男らしさ」を押しつかけたり偏見を持つ人は、まだまだ多くいるのではないかと思います。私も、自分は偏見を持っていないからといって、決して傷つけないとは限らないので知識を持っておく必要があると感じました。
- ・性の多様性が受け入れられる社会に変わってきていて、SNSなどでも発信している人を見ることがあります。私は偏見や違和感を持ってはいないけど、いざ身の回りに性の悩みを持つ人が現れたときに少しでも力になれるようにもっと理解を深めていきたいと思いました。
- ・LGBTについては以前から知っていましたが、今回の授業で出されたニュースのような事例は初めてで、今までよりも真剣に考えることが出来ました。大事なことは、一人一人がしっかりと理解することだだと思います。当たり前前に受け入れられる世の中になってほしいです。
- ・今日の授業から、これから私に出来ることを考えました。まず、知識を増やすということです。今日学んだこと以外にも知らないことが沢山あると思うので、自分で調べるなどして、どのような気持ちで日々生活をしているのかを知りたいと思いました。またLGBTの人たちと私たちは何ら変わらない人であるということを忘れずに生活していきます。

OHR 活動を終えて

短い時間でしたが、みなさんの感想から、性のあり方や性的マイノリティの人々について、真剣に考えることができた様子が伝わってきました。多様な性の人々にとって生きやすい社会をつくろうとする機運が高まってきたのはここ最近であることもあり、施設や制度が追いついていないことは多いと思います。また、どのようにしたらすべての人にとって気持ちよく過ごせるようになるのかについては様々な意見があり、時には対立することもあるかもしれません。しかし、今回のように知識を身につけようと努力をし、正しく理解しようとするのがそのような社会を築く第一歩になるのではないのでしょうか。

ふれあいコラム

○委員会活動の内容

ふれあい委員の活動の一環として、今回は1・2年生の2、4、6組のふれあい委員のみなさんから「あなたのクラスでのほっこりエピソード」と「気になっている人権問題」を募集し、以下のようにまとめてみました。

○ふれあい委員のみなさんの原稿より

〈ほっこりエピソード〉

- ・私のクラスのほっこりエピソードは、クラスの全員が学級日誌に「クラス替えが嫌です」と書いていることです。私たちのクラスほど個性があふれていて楽しいクラスはないと思うし、担任の先生は生徒よりもユーモアがあふれていてみんな先生のことが大好きです。
- ・毎日明るく元気で、そのため毎日が楽しく過ごしやすいです。また何事にも一生懸命で部活はもちろん、勉強など日常生活の取り組みは常に一生懸命です。みんなと協力して取り組んでいます。そして、男女の仲がとても良く、楽しく話したり、勉強のわからないところを教え合っています。ほかのクラスには負けないくらい仲が良いです。

〈気になっている人権問題〉

- ・アメリカで起こった黒人への差別に関する問題が気になっています。最近、英語の教科書でアパルトヘイトという昔行われていた黒人差別について知りました。今、問題となっていることもですが、黒人だからという理由だけでひどい差別を受けています。どうして肌の色によって差別されるのでしょうか。いくら考えても私には理由が思い浮かびません。何に対しての差別もなくなってほしいと心から思います。
- ・最近「あだ名」によって傷つく人がいると言われ「あだ名呼び」は減っています。たしかに人の見た目などを馬鹿にしたような「あだ名」はよくありません。しかし、正しい使い方をすれば、その人と親しみやすくなるなど良いこともあります。正しい使い方をしていくためには、人を馬鹿にするような雰囲気クラスをつくらない・つくらせないことが大切だと思います。

最後に

2年生のみなさんは4月から3年生になり、高校生活も一日一日がより一層かけがえのないものになっていきます。これから周囲の人の気持ちを考えながら行動し、困ったことがあれば、友人や先生に相談するなど人との関係を大切にしながら勉強や部活動等、残りの高校生活を充実したものにしてください。

